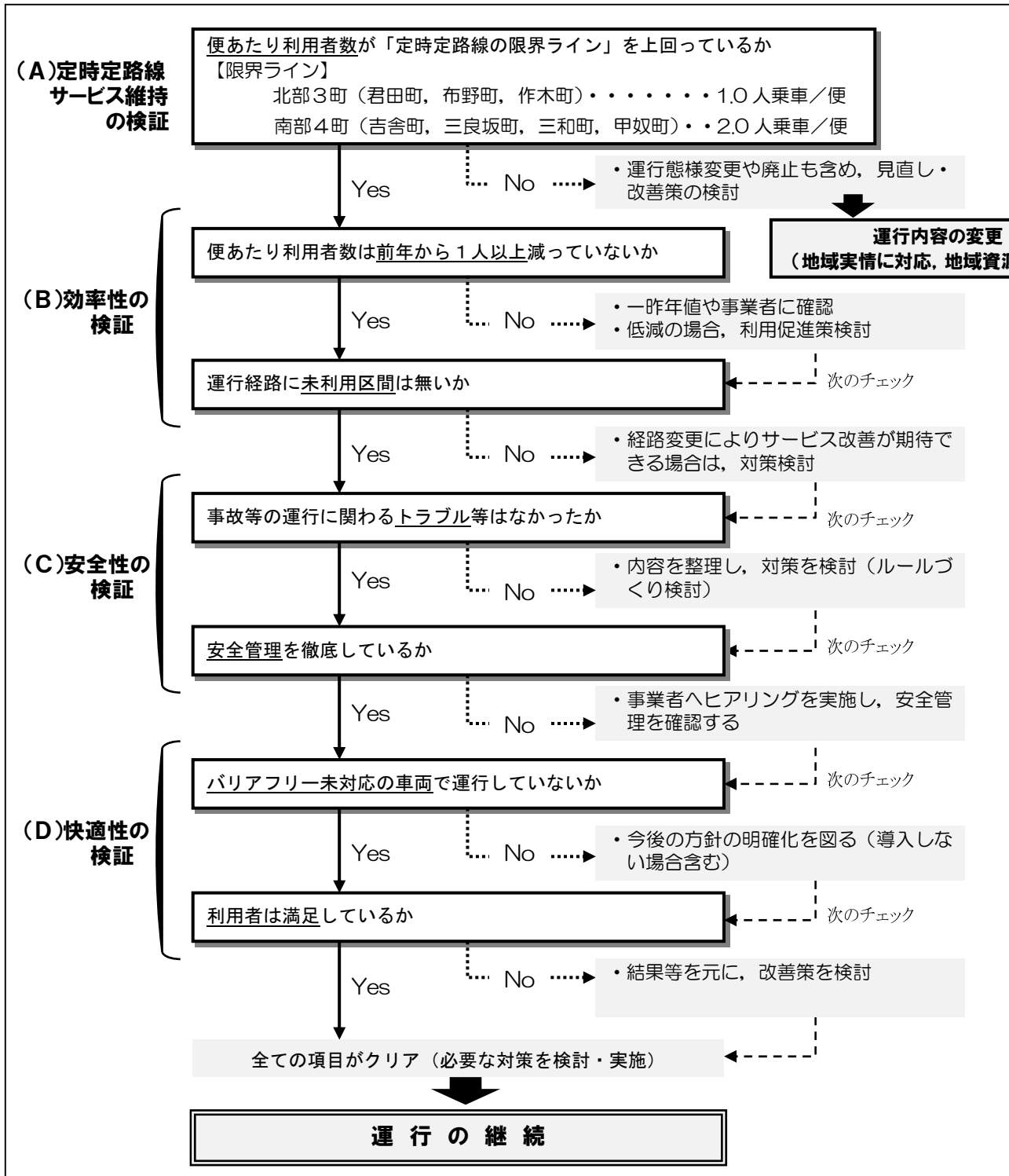


平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [君田町版]



▲ アセスメントの流れ

## アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	<p>【全便平均】</p> <p>全路線で限界ラインを上回るが、利用者が多い路線はスクール便である。スクール便以外の他路線では1.0人/便は上回っているものの低水準である。</p> <p>【便別平均】</p> <p>「月・木」コースの1便(8:47), 2便(11:25)の利用が少ないが、当該地域(卸子地域)では他に便がなく廃止になると利便性が大きく低下する。</p>
	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	「夕B」コースで1.3人/便の減少となったが、依然として5人/便以上の利用者が存在する。
(B) 効率性の検証	運行経路に未利用区間は無い	未利用区間、極端に利用が少ない区間はないため、現行ルートでの運行を継続する。
	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	<p>トラブルは発生していない。</p> <p>発生抑止策の検討、発生した場合の体制準備は適切に行われている。</p>
(C) 安全性の検証	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断でき、各種講習への積極的な参加や情報収集が行われている。
	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	未対応の項目があるため、事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
(D) 快適性の検証	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望について適切に対応していると判断できる。
	運行継続の判断	<p>●全路線で限界ラインを上回るため、今後も定時定路線型での運行を継続する。ただし、スクール便以外については、運行対応の変更も含めて今後の方針を検討する。</p> <p>●「月・木」コースの1便(8:47), 2便(11:25)の利用が少ないが、当該地域(卸子地域)では他に便がなく廃止になると利便性が大きく低下する。これを廃止することは利便性を大きく低下させる。利用促進を図りながら運行継続。</p> <p>●利用者が1人/便以上減少するコースがあるため、利用促進に努めることが必要。</p>

## (A) 定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

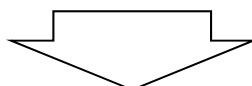
(算出期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る (○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
朝 A	549	179	3.07		スクール便
朝 B	1,467	179	8.20		スクール便
夕 A	1,895	179	10.59		スクール便
夕 B	1,074	179	6.00		スクール便
月・木	294	177	1.66		1 便 (8:47), 2 便 (11:25) の利用が 少ない (事業者ヒア リングより)
火・金	177	118	1.50		
水	107	60	1.78		

#### 【定時定路線限界ライン】

北部 3 町 (君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0 人乗車/便

南部 4 町 (吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0 人乗車/便



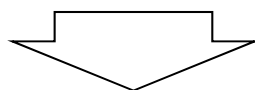
今後の 方針を明記	<p><b>【現状】</b> 全路線で限界ラインを上回るが、コース毎に利用者数は大きく異なる。利用者が多い路線はスクール便であり、その他路線では 1.0 人/便は上回っているが、低水準である。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 全路線で限界ラインを上回るため、定時定路線型での運行とする。スクール便以外については、運行対応の変更も含めて今後の方針を検討する。</p>
--------------	--

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の利用者数 (人)	前年の運行便数 (便)	前年の便あたり利用者数 (人/便)	増減(人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の減少(○をつける)	特記事項 (特に減少した便など)
朝A	178	388	2.18	+0.89		スクール便
朝B	178	1,546	8.69	-0.49		スクール便
夕A	178	1,811	10.17	+0.41		スクール便
夕B	178	1,301	7.31	-1.31	○	スクール便
月・木	168	281	1.67	-0.01		
火・金	122	227	1.86	-0.36		
水	60	77	1.28	+0.50		

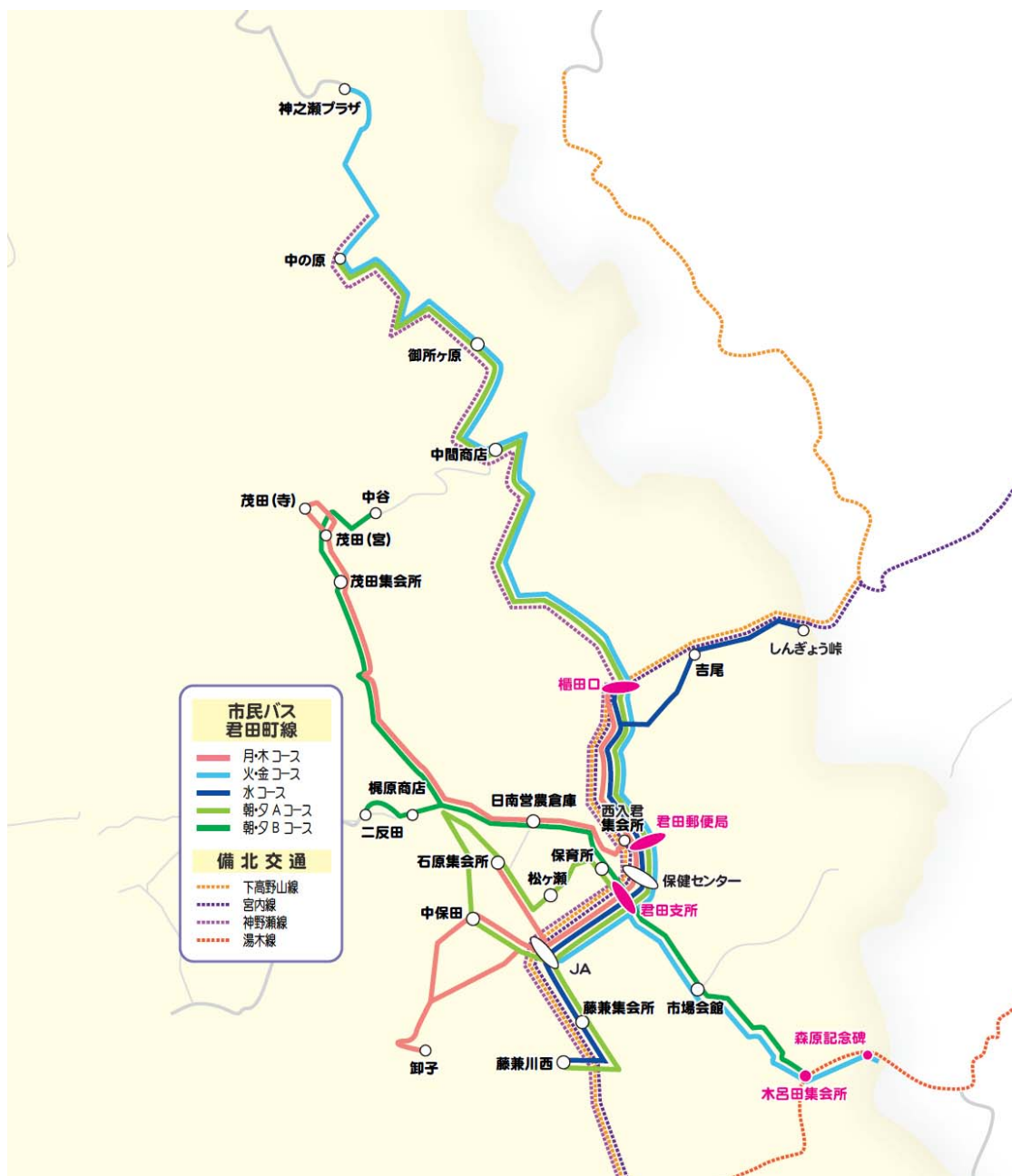


今後の方針を明記	<p><b>【現状】</b> 「夕B」コースで1.3人/便の減少となった。その他路線では微増・微増となっている。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 1人以上減少した「夕B」コースは依然として5人/便以上の利用者が存在する。今後は、利用減を食い止めるため、利用促進策の検討・実施に努める。</p>
----------	--

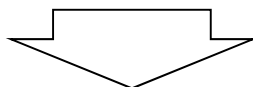
[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



コース	未利用区間あり (○をつける)	極端に利用が少ない区間あり (○をつける)	特記事項 (少ない要因など)
朝A			
朝B			
夕A			
夕B			
月・木			
火・金			
水			



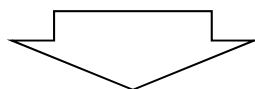
該当する区間の改善方針を明記	未利用区間、極端に利用が少ない区間はないため、現行ルートでの運行を継続する。
----------------	--

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	交通事故等のトラブルあり (○をつける)	ヒヤリ事例あり (○をつける)	特記事項 (内容など)
朝A			
朝B			
夕A			
夕B			
月・木			
火・金			
水			



実施した対策や今後の方針を明記	トラブル、ヒヤリ事例は発生しなかったが、交通事業者は防止策を議論している。発生した場合は危険箇所等を記載したハザードマップに反映される体制となっている。
-----------------	--

### [C-2] 安全管理を徹底しているか

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
未対応の項目なし	

## (D)快適性の検証

### [D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか

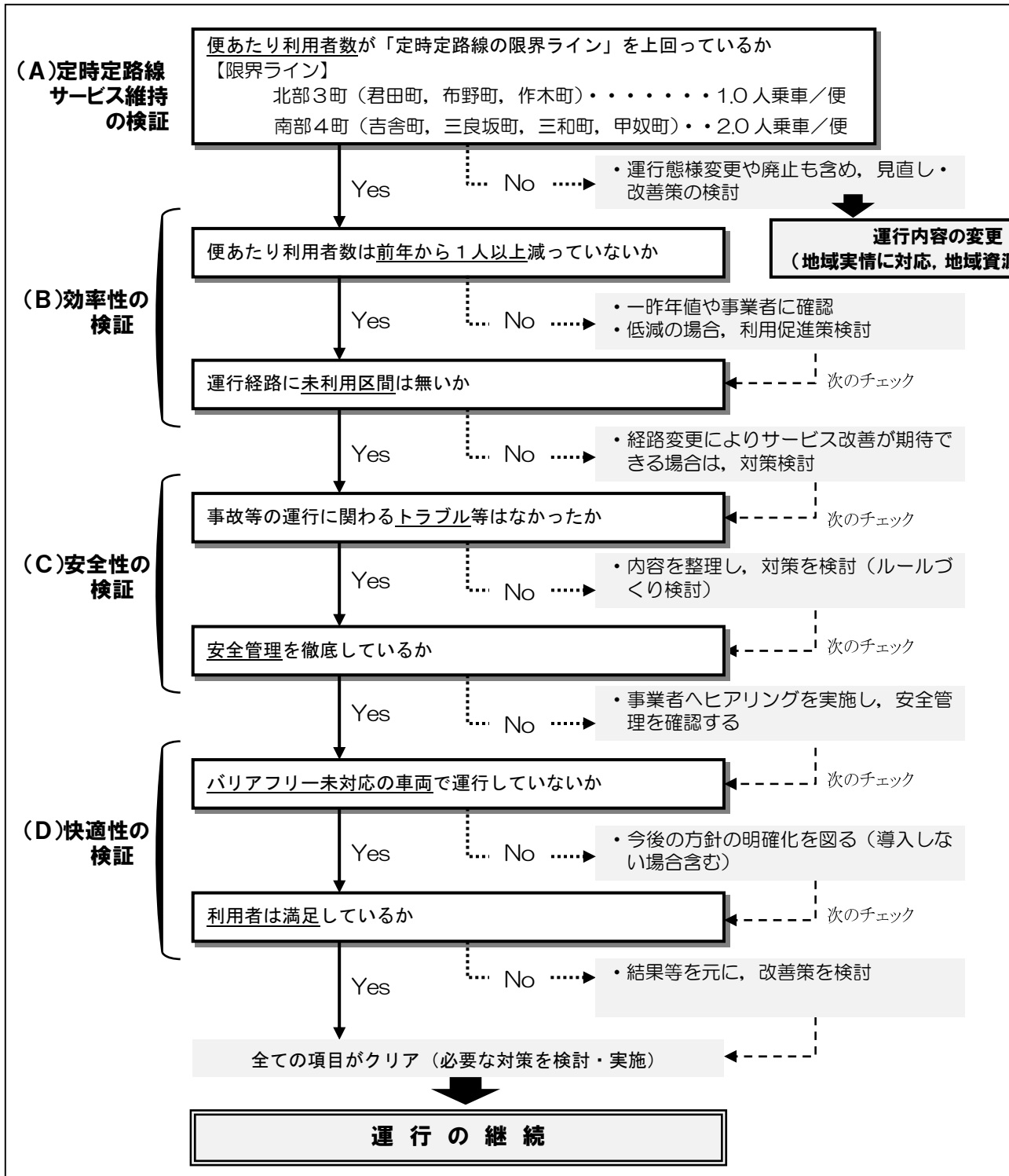
運行 車両	バリアフリ対応			未対応車両 (○をつ ける)	※バリアフリー 未対応車両について  今後の対応方針
	ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 す り	筆 談 器 の 設 置		
1					事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、 早期設置を推進する。

### [D-2] 利用者は満足しているか

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
特になし。	—



# 平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [布野町版]



▲ アセスメントの流れ

## アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	【全便平均】 全路線で限界ラインを上回る。
		【便別平均】 限界ラインを下回る便はない。
(B) 効率性の検証	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	1人以上減少した路線はない。
	運行経路に未利用区間は無い	未利用区間、極端に利用が少ない区間はないため、現行ルートでの運行を継続する。
(C) 安全性の検証	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	トラブルは発生していない。 発生抑止策の検討、発生した場合の体制準備は適切に行われている。
	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断でき、各種講習への積極的な参加や情報収集が行われている。
(D) 快適性の検証	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	対応していない項目があるため、事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望について適切に対応していると判断できる。
<b>運行継続の判断</b>		<b>●全路線で限界ラインを大幅に上回るため、今後も定時定路線型での運行を継続する。</b>

## (A) 定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

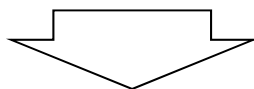
(算出期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る (○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
月・金	929	116	8.01		
水	748	60	12.47		
送り便	1,634	264	6.19		

【定時定路線限界ライン】

北部3町 (君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0人乗車/便

南部4町 (吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0人乗車/便



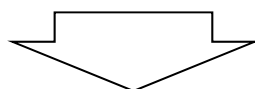
今後の 方針を明記	<p>【現状】 便あたり利用者数は全路線で限界ラインを大きく上回る。</p> <p>【今後の方針】 利用者数は高い水準にあるため、今後も定時定路線型での運行を継続する。</p>
--------------	--

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の 利用者数 (人)	前年の 運行便数 (便)	前年の便あた り利用者数 (人/便)	増減 (人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の 減少 (○を つける)	特記事項 (特に減少した便 など)
月・金	1,025	116	8.84	-0.83		
水	707	60	11.78	+0.68		
送り便	1,767	264	6.69	-0.50		

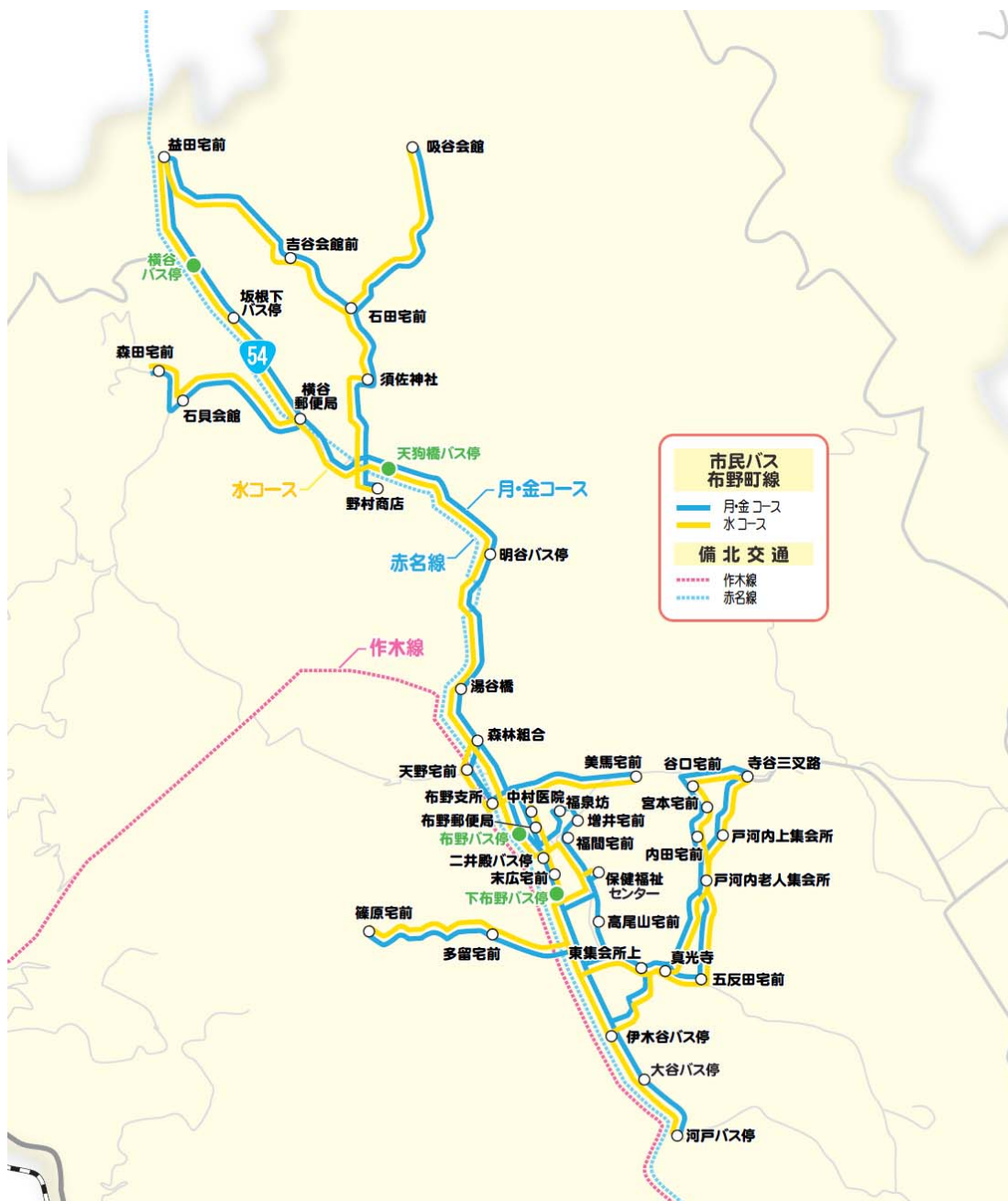


今後の 方針を明記	<p>【現状】 1人以上減少している路線はない。</p> <p>【今後の方針】 減少した路線は少なく、今後も利用促進に努める。</p>
--------------	---

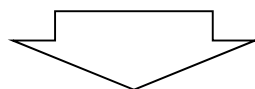
[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



コース	未利用区間あり (○をつける)	極端に利用が少ない区間あり (○をつける)	特記事項 (少ない要因など)
月・金			
水			
送り便			



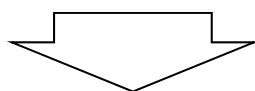
該当する区間の改善方針を明記	未利用区間、極端に利用が少ない区間はないため、現行ルートでの運行を継続する。
----------------	--

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	交通事故等のトラブルあり (○をつける)	ヒヤリ事例あり (○をつける)	特記事項 (内容など)
月・金			
水			
送り便			



実施した対策や今後の方針を明記	トラブル、ヒヤリ事例は発生しなかったが、交通事業者は防止策を議論している。発生した場合は危険箇所等を記載したハザードマップに反映される体制となっている。
-----------------	--

### [C-2] 安全管理を徹底しているか

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
未対応の項目なし	

## (D)快適性の検証

### [D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか

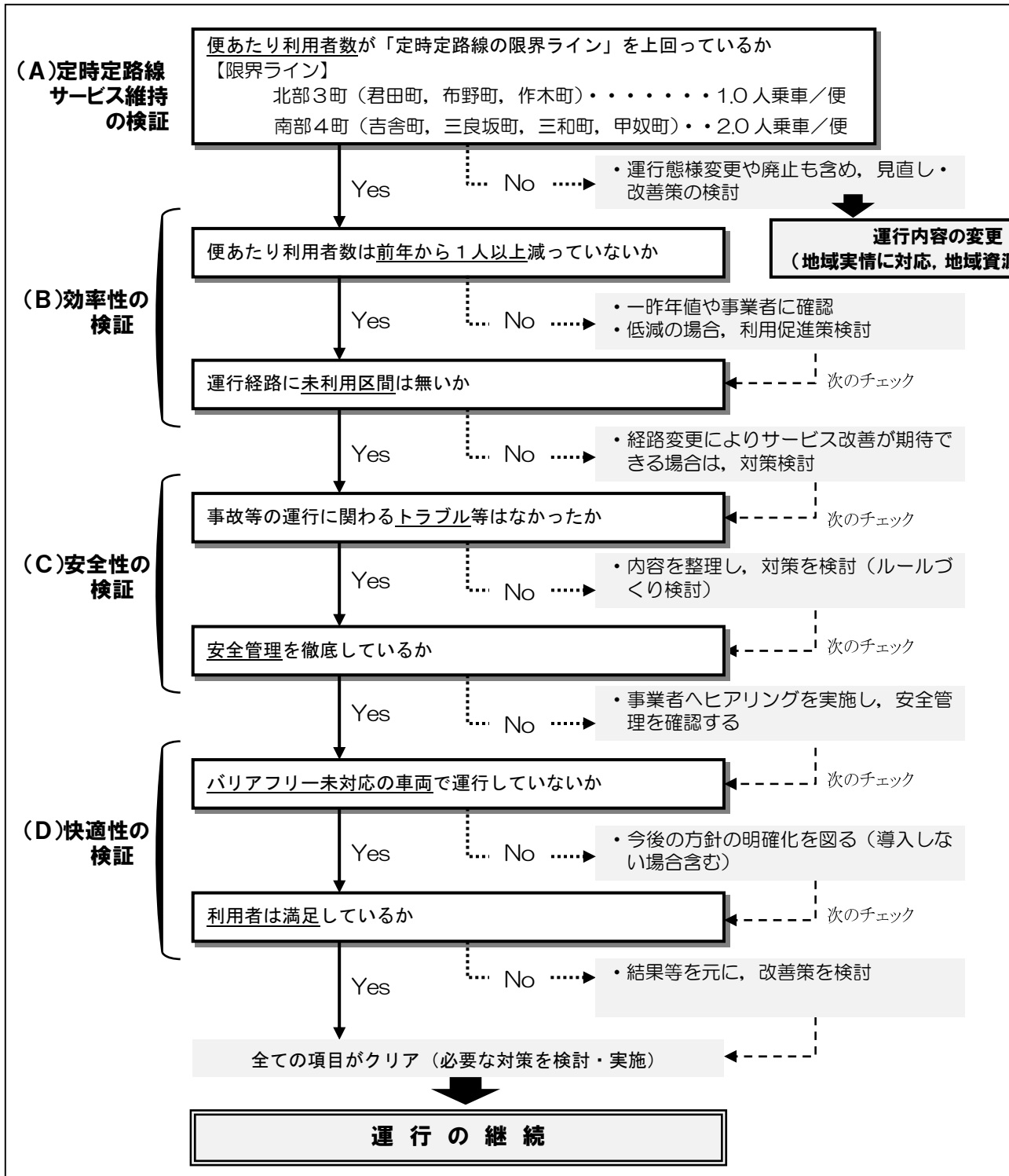
運行 車両	バリアフリ対応			未対応車両 (○をつ ける)	※バリアフリー 未対応車両について  今後の対応方針
	ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 すり	筆 談 器 の 設 置		
1					事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、 早期設置を推進する。

### [D-2] 利用者は満足しているか

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
店舗前を通過中, 利用者から買物の依頼が 頻繁にある。	適切に対応している (交通事業者側が運行時 間・運行状況に支障がないと判断した場合は, できるだけ要望に応えるよう乗務員に指導し ている)。



# 平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [作木町版]



▲ アセスメントの流れ

## アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	【全便平均】 全路線で限界ラインを上回る。
		【便別平均】 「A（下地区）」「B（下地区）」「C（中地区）」コースの3便では限界ラインを下回る。
(B) 効率性の検証	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	「D（中地区）」コースは依然として5人／便以上の利用者が存在する。
	運行経路に未利用区間は無い	未利用区間、極端に利用が少ない区間はないため、現行ルートでの運行を継続する。
(C) 安全性の検証	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	トラブルは発生していない。 発生抑止策の検討、発生した場合の体制準備は適切に行われている。
	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断でき、各種講習への積極的な参加や情報収集が行われている。
(D) 快適性の検証	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	対応していない項目があるため、事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望について適切に対応していると判断できる。
<b>運行継続の判断</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>全路線で限界ラインを上回るため、今後も定時定路線型での運行を継続する。</b></li> <li>● 「A(下地区)」「B(下地区)」「C(中地区)」コースの3便では限界ラインを下回るため、これらについては自家用有償運送とも調整して効率的な運行内容を検討する。</li> <li>● 利用者が減少するコースがあるため、利用促進に努めることが必要。</li> </ul>

## (A)定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

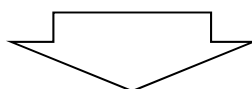
(算出期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る(○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
A(下地区)	872	177	4.93		月木3便(13:55) は0.83人/便
B(下地区)	631	177	3.56		火金3便(13:55) は0.95人/便
C(中地区)	817	149	5.48		月2の3便(15:05) は0.79人/便
D(中地区)	221	120	1.84		
E(上地区)	698	181	3.86		
F(上地区)	1048	177	5.92		

【定時定路線限界ライン】

北部3町(君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0人乗車/便

南部4町(吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0人乗車/便



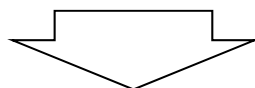
今後の 方針を明記	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 便あたり利用者数は全路線で限界ラインを大きく上回る。</li> <li>● ただし、「A(下地区)」「B(下地区)」「C(中地区)」コースの3便では限界ラインを下回る。</li> </ul> <p>【今後の方針】</p> <p>限界ラインを下回る路線の3便については、自家用有償運送とも調整して効率的な運行内容を検討する。その他の便については定時定路線型での運行を継続する。</p>
--------------	--

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の 利用者数 (人)	前年の 運行便数 (便)	前年の便あた り利用者数 (人/便)	増減 (人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の 減少 (○を つける)	特記事項 (特に減少した便 など)
A (下地区)	816	168	4.86	+0.07		
B (下地区)	605	183	3.31	+0.26		
C (中地区)	744	139	5.35	+0.13		
D (中地区)	408	118	3.46	-1.62	○	
E (上地区)	783	177	4.42	-0.57		
F (上地区)	884	184	4.80	+1.12		



今後の 方針を明記	<p><b>【現状】</b> 「D (中地区)」コースで1人以上減少しているが、増加している路線も多い。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 「D (中地区)」コースは依然として5人/便以上の利用者が存在する。 今後は、利用減を食い止めるため、利用促進策の検討・実施に努める。</p>
--------------	--

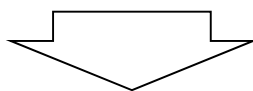
[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



コース	未利用区間あり（○をつける）	極端に利用が少ない区間あり（○をつける）	特記事項 (少ない要因など)
A（下地区）			
B（下地区）		○	H 2 1 実施のヒアリングより。
C（中地区）			
D（中地区）		○	H 2 1 実施のヒアリングより。
E（上地区）			
F（上地区）			



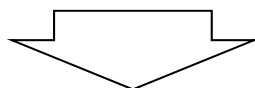
該当する区間の改善方針を明記	「B（下地区）」「D（中地区）」コースに利用が少ない区間が存在するが、ルート途中に点在しているため、ルート変更による大幅な効率化は期待できない。現行ルートでの運行を継続する。
----------------	---

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	交通事故等のトラブルあり (○をつける)	ヒヤリ事例あり (○をつける)	特記事項 (内容など)
A (下地区)			
B (下地区)			
C (中地区)			
D (中地区)			
E (上地区)			
F (上地区)			



実施した対策や今後の方針を明記	トラブル、ヒヤリ事例は発生しなかったが、交通事業者は防止策を議論している。発生した場合は危険箇所等を記載したハザードマップに反映される体制となっている。
-----------------	--

### [C-2] 安全管理を徹底しているか

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
未対応の項目なし	

## (D)快適性の検証

### [D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか

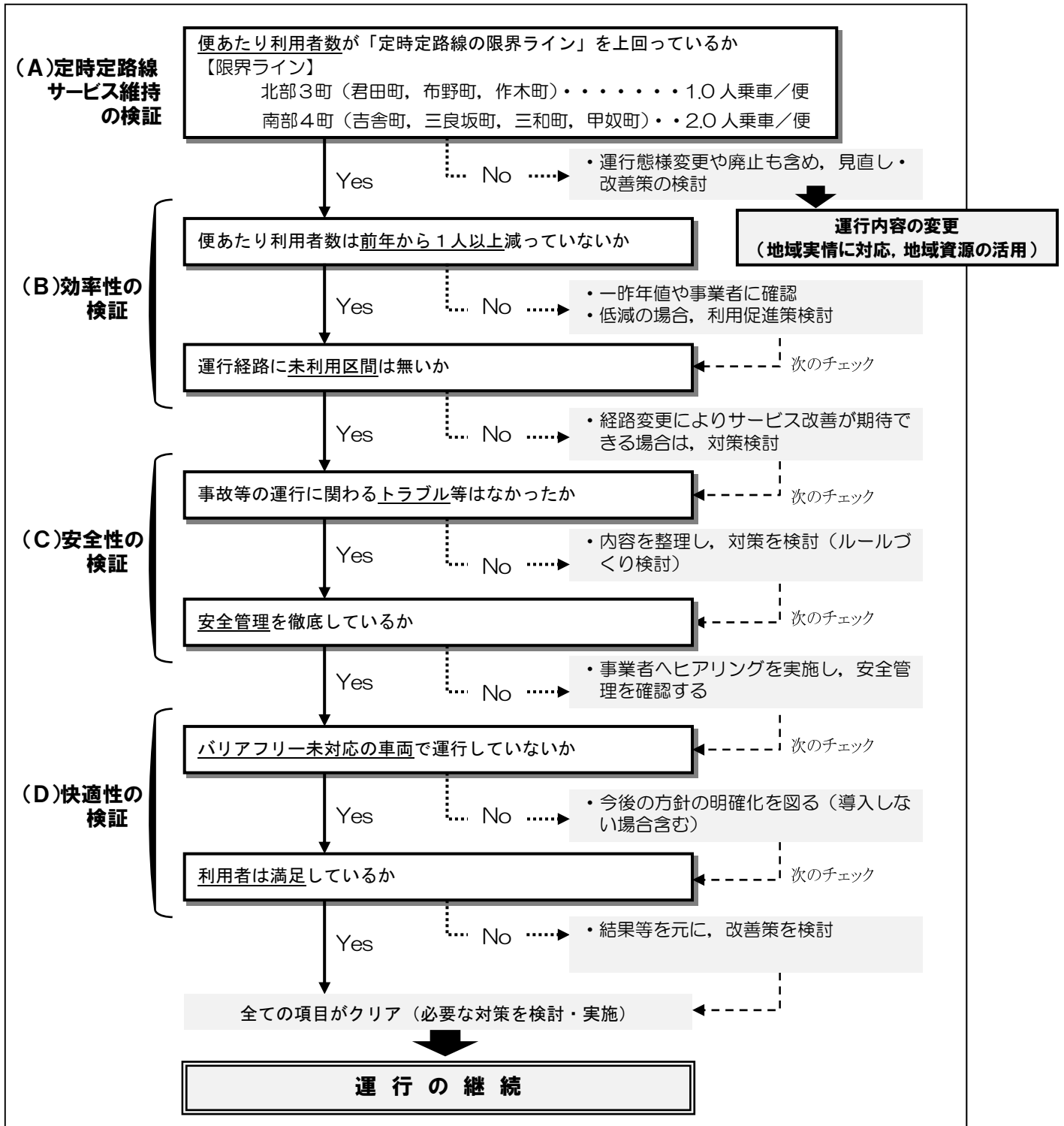
運行 車両	バリフリ対応			未対応車両 (○をつ ける)	※バリアフリー 未対応車両について  今後の対応方針
	ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 すり	筆 談 器 の 設 置		
1					事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、 早期設置を推進する。
2					
3					

### [D-2] 利用者は満足しているか

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
特になし。	—



# 平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [吉舎町版]



▲ アセスメントの流れ

## アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	<p>【全便平均】</p> <p>「B」コースでは限界ラインを下回るが、その他路線は限界ラインを大きく上回り、「C」「D」「E」コースでは5人/便以上の利用者が存在する。</p> <p>【便別平均】</p> <p>Bコースの月・水2便(12:15)の利用が極端に少なく、0.25人/便。</p>
	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	1人以上減少した路線はなく、微増となった路線が多い。
(B) 効率性の検証	運行経路に未利用区間は無い	<p>「D」コースの山城～上徳市間、「E」コースの備後安田駅北側で利用がないため、で利用がないため、ルート変更により効率的な運行が可能かどうか検討必要。</p> <p>午後便は、途中で利用者がいなくなれば、その先のルートから乗車する人はいない。</p>
	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	<p>大きなトラブルは発生していない。</p> <p>車庫より出てきた車と接触したが、適切に対応している。</p>
(C) 安全性の検証	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断でき、平成23年12月からはアンケートによる利用者意見の収集を実施。
	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	未対応の項目があるため、事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
(D) 快適性の検証	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望について適切に対応していると判断できる。
	運行継続の判断	<p>●今後も定時定路線型での運行を継続する。</p> <p>●「B」コース第2便は、利用者数が限界ラインを大きく下回っているが、当該地域では運行が合計2便のみであるため、これを廃止することは利便性を大きく低下させる。利用促進を図りながら運行を継続する。</p> <p>●午後便は、布野町で運行中の「送り便」の導入についても検討する。</p>

## (A)定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

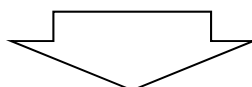
(算出期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る (○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
A	320	114	2.81		月水 2 便 (12:15) は 1.84 人/便
B	76	114	0.67	○	月水 2 便 (12:15) が特に少なく 0.25 人/便
C	898	114	7.88		
D	602	116	5.19		
E	773	116	6.66		
F	424	116	3.66		
医院巡回便	400	288	1.39	○	月～金 2 便 (12:15) は利用なし

【定時定路線限界ライン】

北部 3 町 (君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0 人乗車/便

南部 4 町 (吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0 人乗車/便



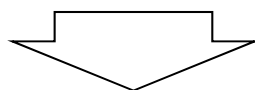
今後の 方針を明記	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「B」コースでは限界ラインを下回り、特に 2 便の利用が極端に少ない。</li> <li>その他路線は限界ラインを大きく上回り、「C」「D」「E」コースでは 5 人/便以上の利用者が存在する。</li> </ul> <p>【今後の方針】</p> <p>定時定路線型での運行を継続する。</p> <p>B コースの利用者が少ないが、これは路線が短いことが原因と考えられる。</p>
--------------	--

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の利用者数 (人)	前年の運行便数 (便)	前年の便あたり利用者数 (人/便)	増減(人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の減少(○をつける)	特記事項 (特に減少した便など)
A	293	114	2.57	+0.24		
B	72	114	0.63	+0.04		
C	895	112	7.99	-0.11		
D	507	118	4.30	+0.89		
E	813	122	6.66	0.00		
F	403	122	3.30	+0.35		
医院巡回便	582	292	1.99	-0.60		

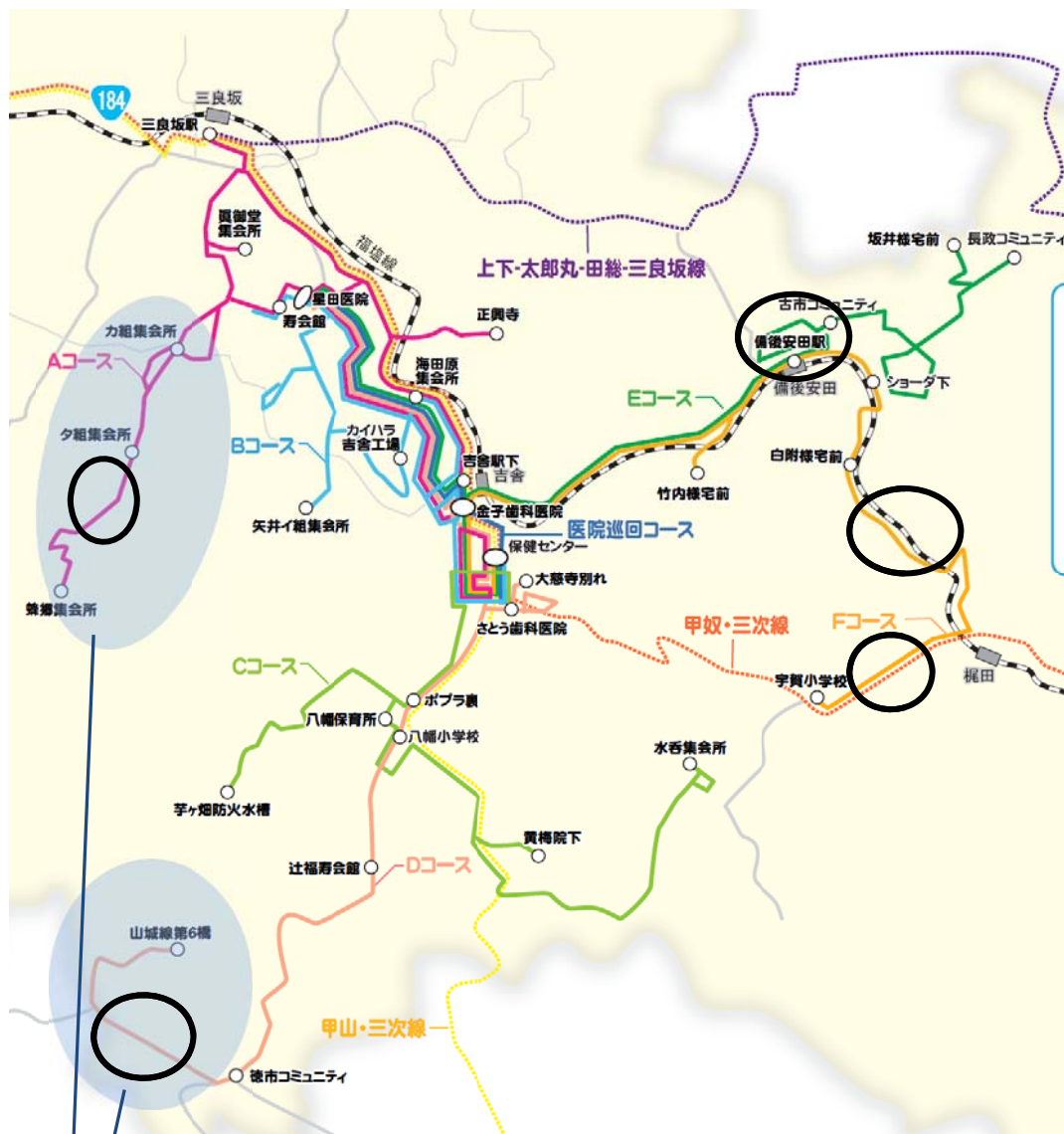


今後の方針を明記	<p><b>【現状】</b> 大幅に減少した路線はなく、微増となった路線が多い。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 減少した路線は少なく、今後も利用促進に努める。</p>
----------	--

[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

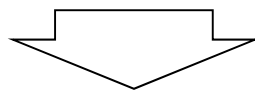
未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



事業  
した、  
区間

コース	未利用区間あり（○をつける）	極端に利用が少ない区間あり（○をつける）	特記事項 (少ない要因など)
A		○	利用される方が少ないが、全くいない訳ではない。午後便は、途中で利用者がいなくなれば、明らかに乗る人がいない。
B			
C			
D		○	山城から上徳市は利用なし。
E		○	「E」コースの備後安田駅北側は、復路便で利用がないにもかかわらず迂回している箇所がある。(事業者ヒアリングより)
F		○	利用される方が少ないが、全くいない訳ではない。
医院巡回便			



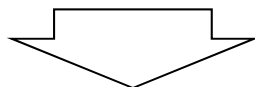
該当する区間の改善方針を明記	<p>「A」「F」コースでは利用が極端に少ない区間があるが、全くいない訳ではないため、既存のルートでの運行を継続する。</p> <p>「D」コースの山城～上徳市間、「E」コースの備後安田駅北側で利用がないため、ルート変更により効率的な運行が可能になると判断できれば変更する。</p> <p>午後便は、布野町で運行中の「送り便」の導入についても検討する。</p> <p>平成23年2月にAコースのルート変更を実施し、利用のない区間を廃止した。</p>
----------------	--

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	交通事故等のトラブルあり (○をつける)	ヒヤリ事例あり (○をつける)	特記事項 (内容など)
A			
B	○		右谷佐藤宅車庫より急にバックして出た為、バスの左ドアに接触した。
C			
D			
E			
F			
医院巡回便			



実施した対策や今後の方針を明記	【実施した対策】 再発を防ぐため、車庫より出てくる車に特に注意して運行することを徹底した。
-----------------	--

### [C-2] 安全管理を徹底しているか

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
安全運行に努め、安全目標を達成したか	車両との接触が起きたため、再発を防ぐよう乗務員への注意・指導を徹底している。
安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割は周知しているか	—
旅客や荷主から輸送の安全に関する意見・要望を収集しているか	乗務員よりコース毎にアンケート用紙で旅客の要望を収集する (平成 23 年 12 月 21 日より)。
自己点検チェックポイント 20～24 の実施状況を記録しているか	色々な出来事、事故等を記録して会議等で収集、報告する (平成 23 年 12 月 21 日より)。
自己点検チェックポイント 26 の実施状況を記録しているか	色々な出来事、事故等を記録して会議等で収集、報告する (平成 23 年 12 月 21 日より)。

## (D)快適性の検証

### [D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか

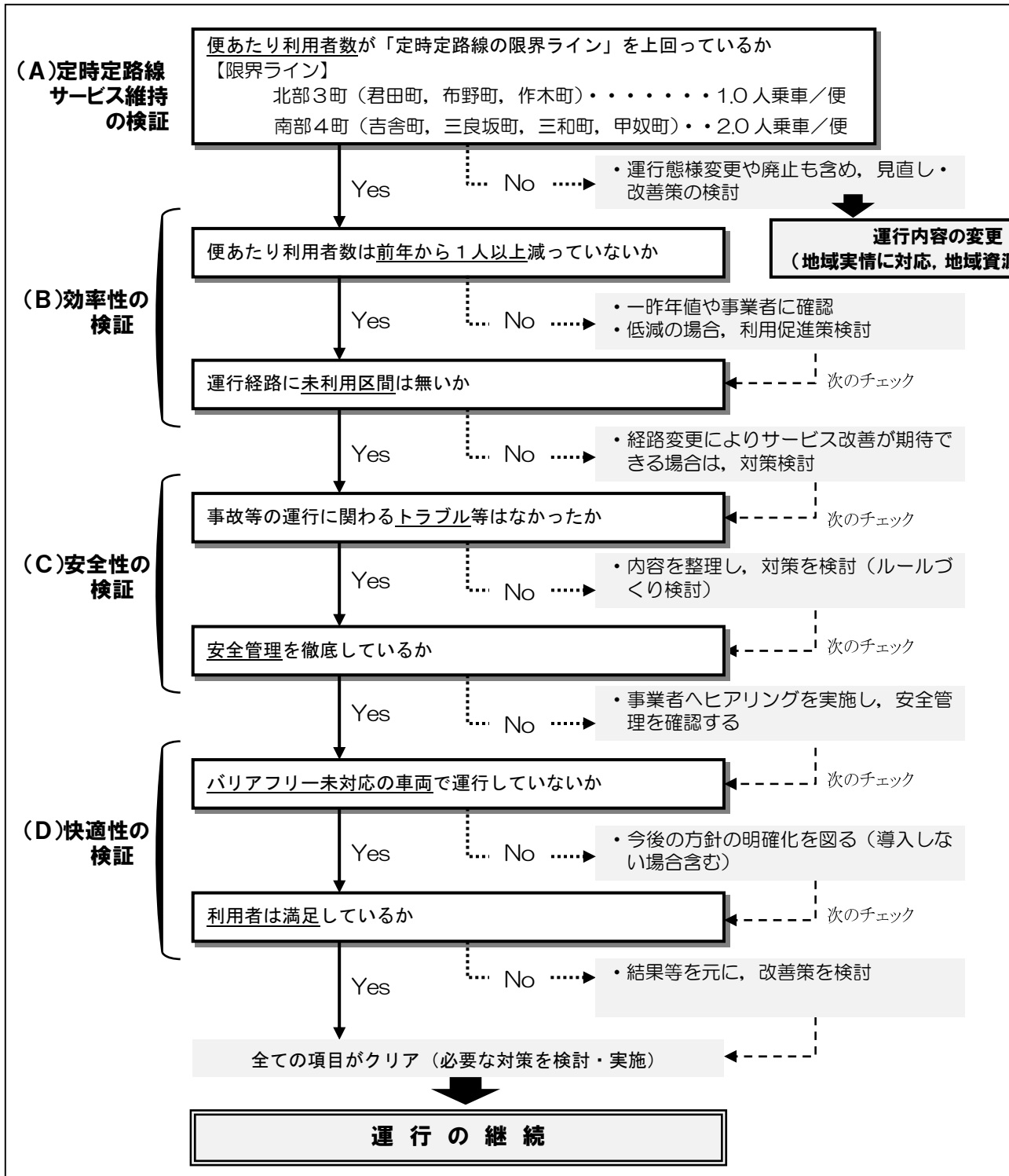
運行 車両	バリフリ対応			未対応車両 (○をつ ける)	※バリアフリー 未対応車両について  今後の対応方針
	ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 す り	筆 談 器 の 設 置		
1	×	○	○	○	事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、 早期設置を推進する。
2	×	○	○	○	
3	×	○	○	○	
4	×	○	○	○	

### [D-2] 利用者は満足しているか

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
足の不自由な方々の乗り降りがむずかしい。	適切に対応されている（乗降しやすくするため、入口に手すり箱を設置）。



# 平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [三和町版]



▲ アセスメントの流れ

## アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	<p>【全便平均】 全路線で限界ラインを大きく上回る。</p> <p>【便別平均】 「下板木」「敷名」「上山」コースの3便(13:45)では限界ラインを下回り、特に「敷名」コースは極端に少ない。(0.03人/便, 6ヶ月で利用1名)</p>
	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	「下板木」「板木」での減少が顕著で、特に「板木」コースでは約4人/便の減少となったが、依然として利用者数は5人/便以上と高い水準にある。
(B) 効率性の検証	運行経路に未利用区間は無い	全路線に未利用区間が存在するが、ルート途中に点在しているため、ルート変更による大幅な効率化は期待できない。
	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	大きなトラブルは発生していない。 草刈り作業中に石が飛びバスのフロントガラスにヒビが入るトラブルが発生したが、適切に対応している。
(C) 安全性の検証	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断できる。
	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	未対応の項目があるため、事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
(D) 快適性の検証	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望などは特になく、満足しているものと判断できる。
	運行継続の判断	<p>●全路線で限界ラインを大幅に上回っており、今後も定時定路線型での運行を継続する。</p> <p>●ただし、第3便(「板木」コースを除く)は、利用者数が限界ラインを下回っているため、廃止も含めて効率的な運行内容を検討する。</p> <p>●利用者が減少するコースがあるため、利用促進に努めることが必要。</p>

## (A)定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

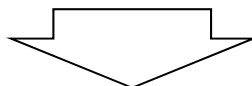
(算出期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る (○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
下板木	902	147	6.14		火 3 便 (13:45) は 1.03 人/便
敷名	528	148	3.57		水 3 便 (13:45) は 0.03 人/便
上山	1,020	150	6.80		木 3 便 (13:45) は 0.87 人/便
板木	808	147	5.50		—

#### 【定時定路線限界ライン】

北部 3 町 (君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0 人乗車/便

南部 4 町 (吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0 人乗車/便



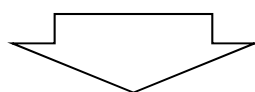
今後の 方針を明記	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>便あたり利用者数は全路線で限界ラインを大きく上回る。</li> <li>ただし、「下板木」「敷名」「上山」コースの 3 便 (13:45 発) では限界ラインを下回り, 特に「敷名」コースは極端に少ない。(0.03 人/便, 6 ヶ月で利用 1 人)</li> </ul> <p>【今後の方針】</p> <p>極端に利用の少ない「下板木」「敷名」「上山」コースの 3 便については, 時間帯の見直しや廃止を検討。</p>
--------------	---

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の利用者数 (人)	前年の運行便数 (便)	前年の便あたり利用者数 (人/便)	増減(人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の減少(○をつける)	特記事項 (特に減少した便など)
下板木	1,234	152	8.12	-1.98	○	火・金の1・2便(9:30, 12:05)で2人程度減少
敷名	475	142	3.35	+0.22		
上山	1,071	148	7.24	-0.44		
板木	1,442	153	9.42	-3.93	○	水・金の1・2便(9:30, 12:05)ともに4人以上減少



今後の方針を明記	<p><b>【現状】</b> 「下板木」「板木」で1人以上減少しており、特に「板木」コースでは約4人の減少となっている。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 減少しているが、2コースとも依然として5人/便以上の利用者が存在する。今後は、利用減を食い止めるため、利用促進策の検討・実施に努める。</p>
----------	--

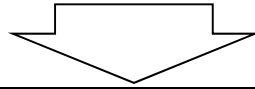
[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



コース	未利用区間あり（○をつける）	極端に利用が少ない区間あり（○をつける）	特記事項 (少ない要因など)
下板木	○		—
敷名	○		—
上山	○		—
板木	○		—



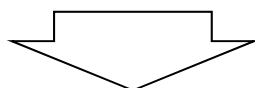
該当する区間の改善方針を明記	全路線に未利用区間が存在するが、ルート途中に点在しているため、ルート変更による大幅な効率化は期待できない。現行ルートでの運行を継続する。
----------------	--

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	交通事故等のトラブルあり(○をつける)	ヒヤリ事例あり(○をつける)	特記事項(内容など)
下板木			
敷名			
上山	○		区間:貞清下バス停～今実石材店(太閤製作所近辺) 草刈り作業中に石が飛びバスのフロントガラスにヒビが入る。
板木			



実施した対策や今後の方針を明記	<p><b>【実施した対策】</b></p> <p>再発を防ぐため、関係団体と書面にて留意事項を確認した。 (交通事業者が、草刈り時に注意して欲しい事項を記した書類を作成し、関係団体へ書面にて提出。また当該団体も、草刈り時に注意する旨を記載した書面を作成し、交通事業者へ提出。)</p>
-----------------	---

**[C-2] 安全管理を徹底しているか**

※「国土交通省運輸安全マネジメント評価によるチェックリスト」を用いて確認

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
代表者（経営者）や安全統括責任者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修等に参加しているか（社内教育の受講も含む）	外部の研修への参加はしていないが、（今年度、広島運輸支局より指導があったことを受け）、念入りに乗務員指導教育を行っている。

**(D) 快適性の検証**

**[D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか**

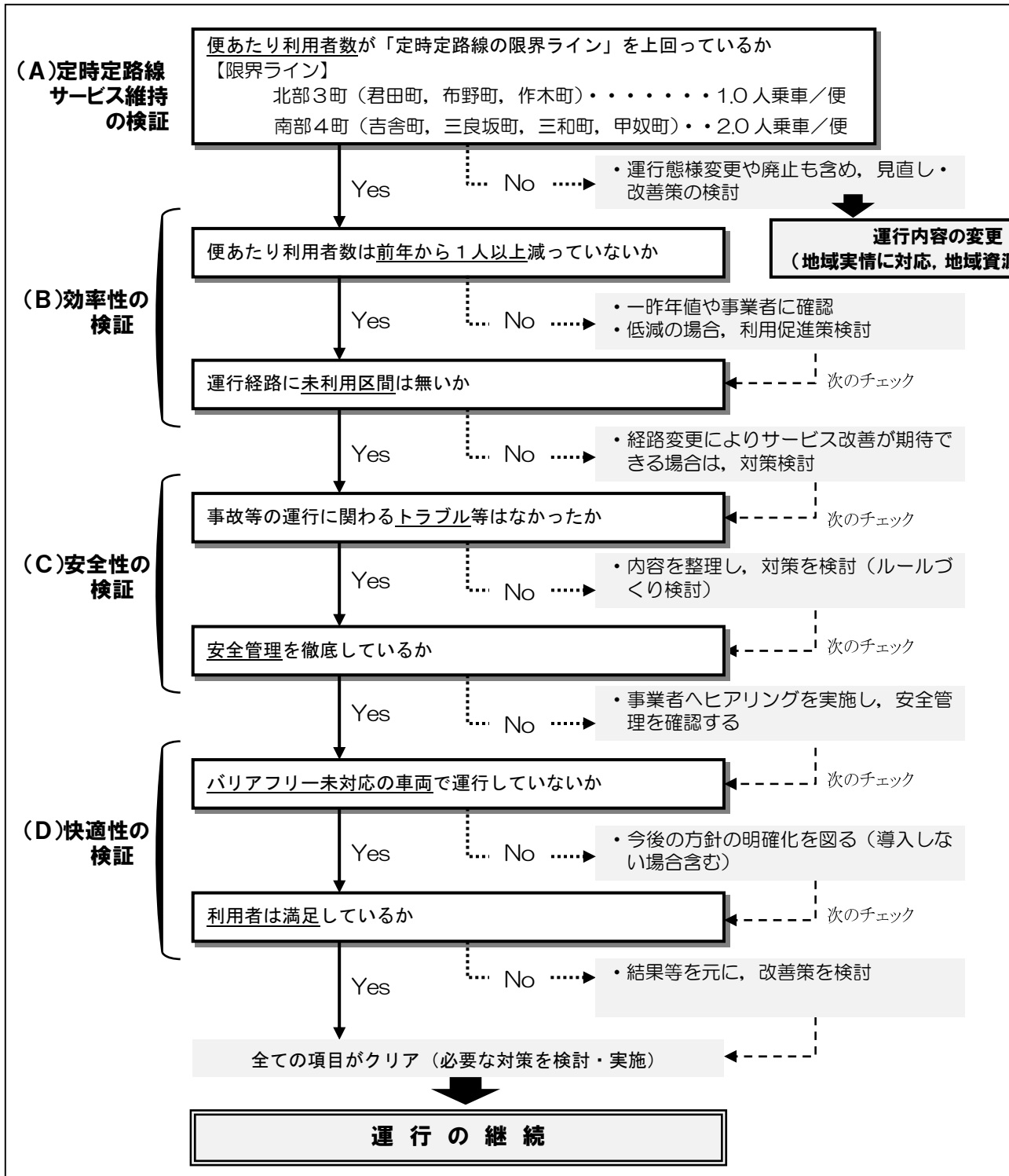
運行車両	バリアフリー対応			未対応車両 (○をつける)	※バリアフリー未対応車両について  今後の対応方針
	ワノン ステン ステップ	乗降口 の手すり	筆談器 の設置		
1	×	○	○	○	事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、早期設置を推進する。
2	×	○	○	○	
3	×	○	○	○	
4	×	×	○	○	

**[D-2] 利用者は満足しているか**

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
特になし	—



# 平成 23 年度 三次市民バスアセスメントシート [甲奴町版]



▲ アセスメントの流れ

### アセスメント総括シート

検証項目		検証結果
(A) 定時定路線サービス維持の検証	便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか	【全便平均】 「六ツ宗（開）」コース以外の路線で限界ライン下回る。  【便別平均】 午前中の往路，午後の復路において1人／便を下回る利用が極端に少ない路線が多い。
	便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか	大幅な増減は見受けられない。微増となった路線が多い。
(B) 効率性の検証	運行経路に未利用区間は無い	「小童」コースで未利用区間，「抜湯」「六ツ宗」「小童」コースに極端に利用が少ない区間が存在する。
	事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか	トラブルは発生していない。 発生抑止策の検討は適切に行われている。
(C) 安全性の検証	安全管理を徹底しているか	安全管理は徹底されていると判断できる。
	バリアフリー未対応の車両で運行していないか	未対応の項目があるため，事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し，早期設置を推進する。
(D) 快適性の検証	利用者は満足しているか	利用者から寄せられる苦情・要望について適切に対応していると判断できる。
	運行継続の判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者数が少なく未利用区間なども存在する事から，平成 23 年 12 月 19 日より全路線をデマンド運行に変更。</li> <li>●運行形態がデマンド方式(予約型)に変更されたため，新しい利用方法の周知に今後も取り組むことが必要。</li> </ul>

## (A)定時定路線サービス維持の検証

### [A-1] 便あたり利用者数が「定時定路線の限界ライン」を上回っているか

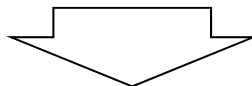
(算出期間 平成 23 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日)

コース	利用者数 (人)	運行便数 (便)	便あたり利用者数 (人/便)	「定時定路線の 限界ライン」を 下回る (○をつ ける)	特記事項 (利用が少ない便 など)
品	486	264	1.84	○	
六ツ宗	252	202	1.25	○	
六ツ宗 (開)	127	60	2.12		
上下抜湯	452	263	1.72	○	
太郎丸郷	475	268	1.77	○	
小童	244	264	0.92	○	

#### 【定時定路線限界ライン】

北部3町 (君田町, 布野町, 作木町)・・・1.0人乗車/便

南部4町 (吉舎町, 三良坂町, 三和町, 甲奴町)・・・2.0人乗車/便



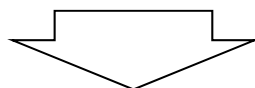
今後の 方針を明記	<p>【現状】 「六ツ宗 (開)」コース以外の路線で限界ライン下回る。</p> <p>【今後の方針】 平成 23 年 12 月 19 日より全路線をデマンド運行に変更した。</p>
--------------	--

## (B)効率性の検証

### [B-1] 便あたり利用者数は前年から1人以上減っていないか

(前年度の算出期間 平成22年 4月 1日～ 10月31日)

コース	前年の利用者数 (人)	前年の運行便数 (便)	前年の便あたり利用者数 (人/便)	増減(人) ※ [A-1] - [B-1]	1人以上の減少(○をつける)	特記事項 (特に減少した便など)
品	567	284	2.00	-0.16		
六ツ宗	230	228	1.01	+0.24		
六ツ宗(開)	116	60	1.93	+0.18		
上下抜湯	447	292	1.53	+0.19		
太郎丸郷	470	317	1.48	+0.29		
小童	330	324	1.02	-0.09		

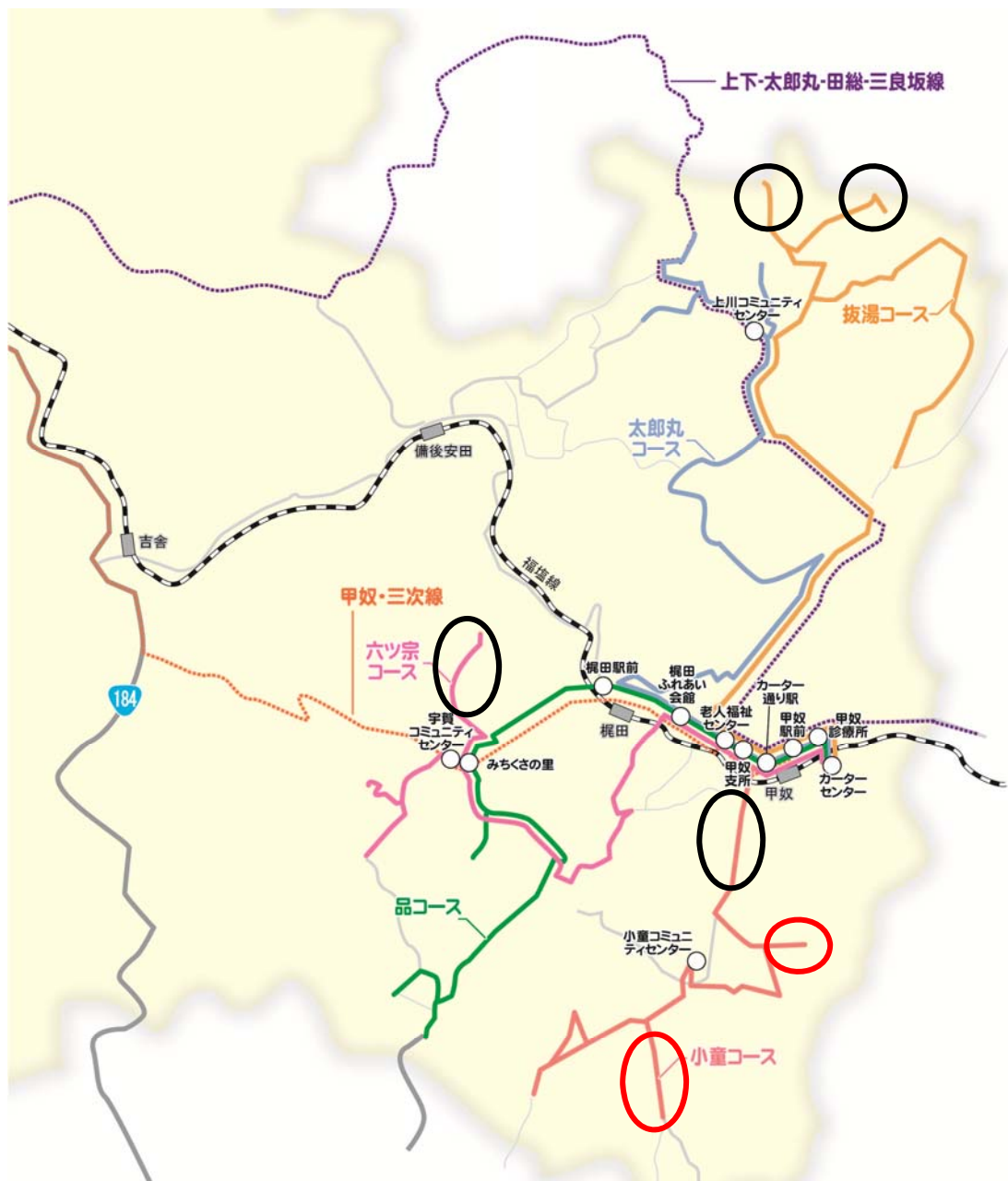


今後の方針を明記	<p><b>【現状】</b> 大幅な増減は見受けられない。微増となった路線が多い。</p> <p><b>【今後の方針】</b> 平成23年12月19日より全路線をデマンド運行に変更した。</p>
----------	---

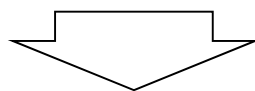
[B-2] 運行経路に未利用区間は無いのか

未利用区間・低利用区間の実態

- ・「全く利用されていない区間」は赤色○
- ・「極端に利用されていない区間」は黒色○



コース	未利用区間あり (○をつける)	極端に利用が少ない区間あり (○をつける)	特記事項 (少ない要因など)
品			
六ツ宗		○	
六ツ宗 (開)		○	
上下抜湯		○	
太郎丸郷			
小童	○	○	



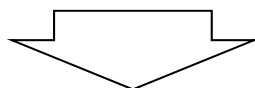
該当する区間の改善方針を明記	平成 23 年 12 月 19 日より全路線をデマンド運行に変更した。
----------------	-------------------------------------

## (C)安全性の検証

### [C-1] 事故等の運行に関わるトラブル等はなかったか

(対象期間 平成23年 4月 1日～ 10月31日)

コース	交通事故等のトラブルあり(○をつける)	ヒヤリ事例あり(○をつける)	特記事項(内容など)
品			
六ツ宗			
六ツ宗(開)			
上下抜湯			
太郎丸郷			
小童			



実施した対策や今後の方針を明記	トラブル、ヒヤリ事例は発生しなかった。今後もそういった事例が発生しないよう、交通事業者は会議等にて防止策を議論している。
-----------------	--

### [C-2] 安全管理を徹底しているか

- 「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト」で未対応の内容と対策

未対応の内容	対応策
代表者(経営者)や安全統括責任者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修等に参加しているか(社内教育の受講も含む)	今後は参加する方向で調整中。

## (D)快適性の検証

### [D-1] バリアフリー未対応の車両で運行していないか

運行 車両	バリフリ対応			未対応車両 (○をつ ける)	※バリアフリー 未対応車両について  今後の対応方針
	ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 すり	筆 談 器 の 設 置		
1					事業者の協力を得ながら市の補助制度等を活用し、 早期設置を推進する。
2					

### [D-2] 利用者は満足しているか

利用者からの苦情や要望の内容	対応策
車の乗り降りが難しい。	適切に対応している(市の補助を得てステップ 設置)。
家の近くまで来てほしい。	平成23年12月19日より全路線をデマンド運 行に変更により、自宅近くまでの送迎に対応。



(三次市民バス運行事業者 記入用)

## 平成 23 年度 三次市民バス運行サービス評価・確認シート [吉舎町線]

事業者名: \_\_\_\_\_

記入者: \_\_\_\_\_

記入日 : 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

- 平成23年4月～平成23年10月における三次市民バスの運行状況を踏まえて、  
1～10頁の「運行サービス評価・確認シート」「別紙1, 2」に、必要事項を  
ご記入ください。
- 記入頂いた当シートは、\_\_\_\_月\_\_\_\_日までに、三次市地域振興課までご返却  
ください。(期日厳守でお願いします)

## 運行サービス評価・確認シート（その1）

市民バスの運行ルートに、沿線住民の減少等により、利用されなくなった区間はありますか。

- 全く利用されない区間がある（※）
- 極端に利用が少ない区間がある（※）

【（※）設問】現在運行している三次市民バスのルート内において、「全く利用されていない区間」及び「極端に利用が少ない区間」を、具体的に                      で囲んでください。

- ・「全く利用されていない区間」を赤色
- ・「極端に利用されていない区間」を黒色 で書いてください。



事業  
した、  
区間

## 運行サービス評価・確認シート（その2）

平成 23 年 4 月以降に、交通事故などの安全面に係るトラブルや、ヒヤリとした事例（事故になりかねない事例）は、ありましたか。	<input type="checkbox"/> トラブル発生あり（※） <input type="checkbox"/> ヒヤリ事例あり（※） <div style="float: right; margin-top: 10px;">                     }                      ↓                 </div>
--	---

**【(※) 設問】** 平成 23 年 4 月以降に発生した、交通事故などの安全面に係るトラブルやヒヤリとした事例（事故になりかねない危険な事例）の内容、及び実施された防止対策について、ご記入ください。

	種類	発生日 コース名	具体的な内容 (場所を明記)	実施した対策	今後、実施 予定の対策
1	<input type="checkbox"/> トラブル発生 <input type="checkbox"/> ヒヤリ事例	_____ 月 _____ 日  _____ コース			
2	<input type="checkbox"/> トラブル発生 <input type="checkbox"/> ヒヤリ事例	_____ 月 _____ 日  _____ コース			
3	<input type="checkbox"/> トラブル発生 <input type="checkbox"/> ヒヤリ事例	_____ 月 _____ 日  _____ コース			

## 運行サービス評価・確認シート（その3）

<p><u>運行ドライバーより利用者の満足状況を聞き取り</u>，該当する項目にチェックしてください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 利用者からの苦情・要望をたまに聞く（※）</p> <p><input type="checkbox"/> 利用者からの苦情・要望を頻繁に聞く（※）</p>
---	---



**【（※）設問】** 利用者から聞く苦情や要望などの具体的な内容，また実施された対策について，ご記入ください。

	苦情・要望などの具体的な内容	実施した対策	今後，実施予定の対策
1			
2			
3			
4			
5			

## 運行サービス評価・確認シート（その4）

利用状況を便別でみたとき、利用者が少ない（1.0 人を下回る、また極端に減少したなど）便はありますか。	<input type="checkbox"/> 利用者が少ない便がある（※）
---	---



**【(※) 設問】** 利用者が少ない便について、その原因・理由、最近の状況などを分かる範囲でご記入ください。

利用者が少ない 路線・コース名	該当する便 (出発時間)	利用者が少ない要因や最近の状況など（分かる範囲で）

## 運行サービス評価・確認シート（その5）

「安全管理の取組み状況の自己チェックリスト（国土交通省）」を用いて判定してください。	<input type="checkbox"/> 「別紙－1」に記入したらチェック
「市民バスの運行車両一覧」の必要事項にご記入ください。	<input type="checkbox"/> 「別紙－2」に記入したらチェック

## 安全管理の取組み状況の自己チェックリスト

(国土交通省 運輸安全マネジメント評価によるチェックリスト)

※実施している場合は『判定』欄に○、実施していない場合は×を記入すること。

※『特記事項』欄には、自社で行っている取組みの概要や取組みが困難な理由・問題、前回のチェック時から改善した点などを記入すること。

(その1)

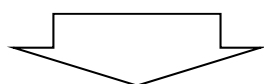
	自己点検チェックポイント	判定	特記事項
1	代表者（経営者）は、法令や社内規則を守ること、安全を最優先とすることなどの考え方を盛り込んだ安全方針を作っているか		
2	代表者（経営者）は、安全方針を社内周知しているか		
3	代表者（経営者）又は安全統括責任者は、安全方針を実現するため、1年ごとに安全目標を作っているか		
4	安全運行に努め、安全目標を達成したか		
5	代表者（経営者）は、重大事故が発生した場合の対応方法を決めているか		
6	代表者（経営者）は、安全に必要な設備の更新・整備や人員の配置などを行っているか		
7	安全統括責任者は、安全方針を社内周知しているか		
8	安全統括責任者は、その職務を把握し、従業員を指揮・指導し、安全目標の達成に向けた取組みを積極的に行っているか		

	自己点検チェックポイント	判定	特記事項
9	安全統括責任者は、代表者（経営者）との連絡を密にし、輸送の安全に関する情報を集め、代表者（経営者）に報告しているか		
10	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を明確に定めているか		
11	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割は周知しているか		
12	社内において、輸送の安全に関する定期的な話し合いを行っているか		
13	代表者（経営者）は、社員と直接話す機会を作り、安全に関する指示・指導をしたり、従業員から意見・要望を聴いたりしているか		
14	旅客や荷主から輸送の安全に関する意見・要望を収集しているか		
15	関係法令や社内規則を遵守して、安全運行に努め、従業員の遵守状況を定期的にチェックしているか		
16	安全管理規程、作業手順等を適切に管理しているか		
17	輸送の安全に関わる者に対して必要な教育・訓練を定期的実施しているか		
18	代表者（経営者）や安全統括責任者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修等に参加しているか（社内教育の受講も含む）		



(その3)

	自己点検チェックポイント	判定	特記事項
19	上記17 及び18 の教育・訓練等の実施状況を記録しているか		
20	事故が発生した場合、代表者（経営者）まで事故の情報が従業員から報告されるようになっているか		
21	発生した事故の再発防止策を考え、実行しているか		
22	ヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用しているか		
23	他社の事故事例などを集め、自社の事故防止に活用しているか		
24	緊急通報・連絡先を少なくとも1年ごとに見直し、電話番号等に変更がないかどうか確認をしているか		
25	上記 20～24 の実施状況を記録しているか		
26	代表者（経営者）は、少なくとも年に1回は安全の確保に向けた取組み状況を点検し、問題があれば改善しているか		
27	上記 26 の実施状況を記録しているか		



安全の確保の状況の点検の結果判明した問題とその解決のため対応した状況		
判明した問題	実施日	解決のための対応状況

## 三次市民バスの運行車両一覧

	種別	メーカー	定員	ナンバープレート	導入時期	導入手段	バリアフリー対応			※バリアフリー未対応 車両について 今後の対応方針
							ワ ン ス テ ッ プ	乗 降 口 の 手 す り	筆 談 器 の 設 置	
1	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
2	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
3	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
4	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
5	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
6	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				
7	大型・中型・小型				平成 年 月 日	購入・リース・その他				